

【河川】第2回高瀬川大規模氾濫時の減災対策協議会を開催しました！

1. 概要

- 高瀬川で発生しうる大規模な浸水被害に備え、隣接する自治体や県、国が連携して、減災のための目標を共有し、対策を一体的かつ計画的に推進するため、**5月13日に減災対策協議会を設立**しました。
- 第2回協議会では、今後、「逃がす・防ぐ・取り戻す」ための取組を進め、防災意識向上や被害最小化を図るため、関係機関が5ヶ年で取り組むべき内容を定めた「**地域の取組方針**」を策定しました。

2. 日時／実施状況

- ・日 時：平成28年8月22日(月)
- ・場 所：小川原湖交流センター「宝湖館」 1階多目的ホール
- ・出席者：三沢市(市長 代理：副市長)、東北町(町長)、六ヶ所村(村長 代理：副村長)、青森地方气象台(台長 代理：水害対策気象官)、県(県土整備部長 代理：県土整備部理事、危機管理局長(欠席))、高瀬川河川事務所(所長)

会場全景(小川原湖交流センター)



関係機関 約20名が参加

議事内容

- ・(1)規約改正、(2)幹事会の報告の説明
⇒異議なし
- ・(3)高瀬川の減災に係る取組方針(案)の説明
⇒説明後に意見交換、出席委員からご発言、取組方針了承

3. 主な意見・コメント等

- ・高瀬川は、小川原湖と繋がっており、急激な水位変動はないものと認識している。それほど危機感がないので、PR方法を考えることが必要。
- ・東北町には、高瀬川の支川が流れ込む。合流部の土砂撤去がされないと、急激な水位上昇があると流れない。各支川の整備が遅れているので、支川の整備をお願いする。
- ・七戸川、坪川など幹川の改修はほぼ終わっている。堤外地に樹木が繁茂し、ゴミがたまって洪水が流れないのではないかと危険に感じている。河道内の整備が課題。
- ・河口の閉塞の状況がある。射爆撃場があるが直ちに浚渫を行うようお願いする。
- ・市町村間で水防団の募集等、連携協力すべきことがある。一体となってやっていきたい。



三沢市長(代理：副市長)



七戸町長



東北町長



六ヶ所村長(代理：副村長)



青森県県土整備部長
(代理：県土整備部理事)



青森地方気象台長
(代理：水害対策気象官)



高瀬川河川事務所長